

Course number		G-LAS00 80011 LJ47					
Course title (and course title in English)	大学教員になる人のための学生支援論 Lectures on student support for college teachers-to-be.				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Agency for Student Support and Disability Resources Professor,SUGIHARA YASUSHI	
						Agency for Student Support and Disability Resources Associate Professor,NAKAGAWA JIYUNKO	
						Agency for Student Support and Disability Resources Associate Professor,MURATA JUN	
						Agency for Student Support and Disability Resources Senior Lecturer,WADA RYUUTA	
						Agency for Student Support and Disability Resources Senior Lecturer,FURUKAWA HIROYUKI	
Group	Common Graduate Courses			Field(Classification)		Social Responsibility and Profitability	
Language of instruction	Japanese			Old group		Number of credits	1
Hours	15	Class style	Lecture (Face-to-face course)			Year/semesters	2025・Intensive, First semester
Days and periods	Intensive 9/24,9/25		Target year	Graduate students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>教員には、学生の健康や安全への配慮義務がある。また学生の人権を守るとは、当然のこととして期待されている。現在の大学においてハラスメント予防は重要な問題となっているが、ハラスメント問題の多くは、大学教員が学生の健康や安全への配慮、また学生が抱えている障害への配慮等についての意識が低いことに起因することが多い。ハラスメントを避けるという消極的目標を超えて、学生の人権を尊重した教員-学生関係を積極的に作り上げ、円滑で豊かなコミュニケーションを行い、必要かつ適切な学生支援を行うことができる大学教員になることを目指して、基本的な知識・スキルを身につける。</p>							
[Course objectives]							
<p>学生の権利侵害にならない（ハラスメントにならない）関わり方について学び、意識を高める。自らの人権も相手の人権も尊重するコミュニケーションのあり方について学ぶ。教室や研究室で問題を抱えた学生に早期に気づき、適切に対応するスキルについて学ぶ。障害のある学生への合理的配慮について学ぶ。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>この授業は、（１）オンライン授業（オンデマンド型）による講義と（２）教室における講義と（３）教室における演習の３つによって構成される。受講者は教室における講義と演習に先立って（１）のオンライン授業（オンデマンド型）による講義を受講しておくことが求められる。</p> <p>教室で行う（２）講義と（３）演習については、９月２４日と２５日の２日間にわたって10:30～18:00に実施する。オンラインでは実施しない。</p> <p>（１）オンライン授業（オンデマンド型）による講義（各50分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生支援の基本理解（杉原） 効果的なコミュニケーション（アサーション）（杉原） 問題を抱えた学生の早期発見と適切な対応（古川） ハラスメントにならない指導（中川） 現代社会における障害の理解（村田） 障害のある学生の権利保障と合理的配慮（村田） 							
<div style="text-align: right;">Continue to 大学教員になる人のための学生支援論(2)</div>							

大学教員になる人のための学生支援論(2)

(2) 教室における講義

学生の諸問題（メンタルヘルス、犯罪、問題行動）（和田）

教職員にできる予防的な関わり方（古川）

不登校、引きこもり、意欲喪失の学生への対応（古川）

リスク管理、危機管理（古川）

アンガーマネジメント（杉原）

障害に関する大学としてのアプローチ（村田）

(3) 教室における演習（グループワーク）

アサーション（杉原）

身近なハラスメントについて考える（中川）

ハラスメントの相談を受ける（中川）

悩みの相談を受ける（言語）（和田）

悩みの相談を受ける（非言語）（和田）

悩みの相談を受ける（総合）（和田）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

各担当教員が授業中に課すレポートにより成績評価を行う。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（ References, etc. ）

各担当教員が授業中に適宜紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

各自の興味関心に従って、関連する文献を読むこと、自身の体験を振り返ることなどが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

本科目は大学院教育支援機構が提供する「教育能力向上コース」を構成する科目である。